

## 情報公開文書

作成日：2024年11月20日  
版数：第1.1版

1. 研究の名称  
Digital Radiographyにおける画質安定化手法の臨床的有用性の検討
2. 倫理審査と許可  
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審理を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名  
研究機関：京都大学医学部附属病院 放射線部  
研究責任者：主任診療放射線技師 上間 千秋  
  
共同研究機関：キヤノン株式会社  
研究責任者：メディカルコンポーネント事業部 主幹 小倉 隆
4. 研究の目的・意義  
新開発されたBuilt-in AEC assistance機能は従来では不可能であった、無線環境下での自動線量制御機構を有します。Built-in AEC assistanceはX線画像の線量指標値を多数収集し、目標とする線量指標値を設定することで、画質の安定化と線量の適性化を可能にします。本研究の目的は、無線環境下におけるポータブル撮影時の臨床画像の画質の安定性と臨床的有用性について検討することです。
5. 研究実施期間  
研究機関の長の実施許可日から2029年12月31日
6. 対象となる資料・情報の取得期間  
2023年1月1日から2025年12月31日までに、京都大学医学部附属病院にてポータブル装置を使用してX線撮影検査を施行された患者さん。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法  
X線画像から線量指標値を収集し、目標とする線量指標値を決定します。また撮影されたX線画像について画質の評価を実施します。  
Built-in AEC assistanceの改善が必要と判断した場合、個人情報削除した画像をキヤノン株式会社に提供し、開発や改良を検討する可能性があります。
8. 利用または提供する資料・情報の項目  
X線画像および画像に付帯した線量指標値。
9. 利用または提供を開始する予定日  
研究機関の長の実施許可日以降に利用を開始します。
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名  
共同研究機関：キヤノン株式会社メディカルコンポーネント事業部  
研究責任者：主幹 小倉 隆
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称  
研究責任者：主任診療放射線技師 上間 千秋
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する試料の入手・閲覧する方法  
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する試料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問い合わせ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
  - 1) 研究資金の種類および提供者  
本研究は、キヤノン株式会社の研究費を用いた共同研究として実施されます。本研究に用いる機器はキヤノン株式会社からの無償提供を受けています。
  - 2) 提供者と研究者との関係  
提供者であるキヤノン株式会社は、研究の企画、運営、解析、論文執筆において、研究者へ助言を行うことがあります。
  - 3) 利益相反  
利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規定に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
15. 相談窓口
  - 1) 研究課題ごとの相談窓口  
京都大学医学部附属病院 放射線部  
担当者；主任診療放射線技師 上間千秋  
TEL； 075-751-3111（代表）
  - 2) 京都大学の苦情等の相談窓口  
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口  
TEL； 075-751-4748  
E-mail； ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp